

『アジア教育文化ジャーナル』 (ISSN 2187-5510)

執筆要領

1. (投稿論文の趣旨・テーマ)

投稿論文等のテーマは、中日教育研究学会（以下、「本学会」）の活動の趣旨に沿うものとする。論文等は未発表のものに限る。

2. (投稿資格)

投稿論文等の執筆者は、所定の会費を納入している本学会の会員とする。但し、招待論文の執筆者はこの限りではない。

3. (投稿規格)

- (1) 投稿論文等は、日本語を使用し、ネイティブのチェックを受けること。
- (2) 原著論文の投稿は、A4判用紙に一行40字×30行(1200字)の規格で印字し、20枚以内とする。
- (3) 研究ノート、実践報告、調査報告の投稿は、A4判用紙に一行40字×30行(1440字)の規格で印字し、15枚以内とする。
- (4) 書評、図書紹介は、A4判用紙に一行40字×30行(1200字)の規格で印字し、4枚以内とする。
- (5) 論文題目は、MSゴシックで、14ポイントとする。副題がある場合は、MSゴシックで、12ポイントとし、副題の前後をダッシュ（—）ではさむ。
- (6) 執筆者名を記入しない。
- (7) 副題から2行を空けて摘要を入れ、分量は300～400字とする。摘要には課題意識、目的、結果、社会的意義等を含めることとする。
摘要から1行を空けてキーワードを3～5個入れ、キーワードから1行を空けて本文を始める。
摘要、キーワードと本文の見出し、図表のタイトルのフォントは、MSゴシックで、10.5ポイントとする。摘要、キーワードと本文の見出しは左詰とする。
摘要、キーワード、本文、引用文献を含む注のフォントは、MS明朝で（英数字は半角、centuryで）、10.5ポイントとする。（、。）の句読点方式を採用すること。余白は、上が30mm・左右が25mm・下が25mmとする。
- (8) 上記原稿規格及び規定枚数の中には、図・表・引用文献を含む注も含める。表には上部、図および画像には下部に標題を付す。
図表は原則白黒とする。カラー仕様の場合は、図表データを別紙としても提出をする。なお、J-Stageへの記事登録に伴い、図の拡張子はjpg、jpeg、pngに限定する。
- (9) 見出しは、左寄せとし、次の例を倣って全角洋数字とし、項までとする。
(例) 第1章 → 1.
第1章第2節 → 1. 2
第1章第2節第3項 → 1. 2. 3
- (10) 引用文献を含む注は、原稿末尾に通し番号を付して一括して掲げるものとする。
執筆者名を記載し、「拙稿」、「拙著」等の表現を用いない。原則として次の形式に従うこと。
引用の根拠となる文献は、第一著者の母語発音のローマ字表記のアルファベット順、同一著者の場合は刊行年順、同一刊行年の場合は主旨a、b、cを刊行年に付記し、

記載する。

①図書の場合：

著者姓名、刊行年、書名、出版社

(例) 中日教育研究協会編、2016、アジアの文化と教育、アジア出版

山田太郎、2016a、中国の文化、アジア書房

②図書の一部の場合：

著者姓名、刊行年、“章の見出し”、書名、編者名、出版社、頁

(例) 木村太郎、2016、“中国の青い空”、アジアの文化と教育、中日教育研究協会編、アジア出版、43-76頁。

③雑誌・紀要の論文の場合：

著者姓名、刊行年、“論文名”、雑誌名、巻号数、頁

(例) 阿部太郎、2016、“中国の教養教育”、アジア文化研究、第2号、1-15頁。

④Web サイトなど

著者姓名、刊行年、“Web ページの題名”、Web サイトの名称、入手先 URL、入手日付

(例) Yamada Taro、2016、“Labor Market Outcomes”、ASIA Working Paper、No.37、<https://cneeducation.jimdo.com/workingpaper> (2016-7-13 アクセス)

(11) 文献の引用

①文章の引用

文献の一部を直接引用する際には、原文通りに転記する。

引用文は、別行とせず本文に続けて、「」で囲む。

引用文は、MS明朝を用いる。

引用した原文の一部を省略した場合は、「…」で示す。

文章を引用する際には、著作権所有者の許可が必要なことがあるので注意する。

②著者名・出版年

本文中に文献を引用する場合、著者名の直後に出版年を添える。

本文中に文章として文献を示す場合：

佐藤(2021)は、・・・

佐藤(2023)によれば、・・・

文末のカッコ内に文献を示す場合：

・・・である(田中、2010)。

同一著者が同一年に刊行した文献が複数ある場合：

高橋(2020a)

高橋(2020b)

のように、年次を示す数字の直後に小文字のアルファベットを付す。

共著の場合：

引用のたびに、両者の姓を記述する。

佐藤・田中(2016)は、・・・

・・・である(佐藤・田中、2016)。

著者が3人以上の場合：

初出は全著者の姓を記述する。2度目以降は、第1著者の姓だけを記述し、それ以外の著者は「他」と記述する。

初出：佐藤・高橋・田中(2012)は、・・・

・・・である(佐藤・高橋・田中、2012)。

2度目以降：佐藤他(2012)は、・・・

・・・である(佐藤他、2012)。

翻訳の場合：

原典の著者の姓と出版年、次に翻訳者の姓と出版年を記述する。

Smith(2000・佐藤訳、2019)は、・・・

・・・(Smith、2000・佐藤訳、2019)。

4. (提出原稿・投稿媒体)

- (1) 「投稿者事前チェックリスト」に基づき提出物を確認し、原稿と別紙をそれぞれ Microsoft WordとPDFのデータ、倫理規定と本学会の「著作権譲渡契約書」と併せて 下記6の原稿送付先のメールに添付して送付する。
- (2) 別紙は、下記の事項を記載すること。
 - ・執筆者氏名 (日本語)
 - ・所属機関名 (日本語)
 - ・原著論文、研究ノート、実践報告、調査報告のどちらの区分を希望するか
 - ・論文題目 (和文)
 - ・倫理規定の対応状況 (書式は任意)
 - ・メールアドレス等の連絡先
- (3) 編集委員会は、投稿論文が1から3項までの規定を満たしたものかどうか、別紙の内容が揃っているかどうかを審査する。論文を受け付けた場合、「受付日」を執筆者に通達する。受け付けた論文は、査読を行い、修正などの手続きを経て、採択された場合、その決定日を「受理日」として執筆者に通達する。
「受付日」「受理日」は各論考にも明記する。
- (4) 論文等の掲載決定者に対し、執筆者全員の氏名と所属機関名の英語表記及び論文の英文題目、英文摘要 (200ワード程度) の提出を別途に求める。
- (5) 英文摘要
英文摘要は、A4判用紙、1行36字×30行、1枚以内に収めること。
用紙は横書きとし、余白は、上が30mm・左右が25mm・下が30mmとする。
使用フォントはTimes New Romanとする。
タイトルは本文冒頭に中央揃え・14ポイント・太字で記載すること。
執筆者名 (所属) はタイトルから1行を空けて右揃え・12ポイントで記載すること。
本文は執筆者名 (所属) から1行を空けて作成し、12ポイントとし、左右揃えとすること。本文の語数は200ワード程度とする。本文は原則として1段落で記述し、図表・脚注・参考文献は記載しないこと。
本文から1行を空けてキーワードを3～5個入れる。
摘要は提出前に英文表記・文法等をネイティブのチェックを受けること。

5. (印字)

投稿された A4 判原稿は、査読・編集後に電子化される。

6. (お問い合わせ)

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-320-8

一般社団法人 中日教育研究学会 電子ジャーナル編集委員会

Email : ec-aecr2023@scjer.com

本執筆要領は、2021年 6月 9日修正。

本執筆要領は、2023年 11月 3日修正。

本執筆要領は、2024年 4月 21日修正。

本執筆要領は、2026年 5月 26日修正。